

## よくある御質問

Q 1. 試験準備のための参考書や問題集はありませんか。

A 1. 過去に実施されました試験問題については、コピーサービスを行っておりますので事務要領 P30 を御参照いただくか当協会ホームページの[こちら](#)を御覧ください。

Q 2. 試験会場はどこでもよいのですか。

A 2. 所在地が愛知県内で、受検を希望される試験の実技試験実施要領等で定める基準を満たしていることが必要です。

この条件を満たしていれば受入企業以外の場所でも可能です。

Q 3. 試験日の予約はどのようにするのですか。

A 3. 管理団体等が、外国人技能実習機構(以下、機構)へ受検希望情報を申請された後、機構によりその情報が承認されますと、その情報を当協会でご覧が可能となり、当協会から受検申請関係書類をお送りします。その書類が届き次第、当協会へ電話で試験日予約の申込み状況を御確認いただいた上で、試験日の予約をしてください。

愛知県では、試験日予約が大変込み合っていますので、御希望の試験日予約ができない場合があります。早めに機構へ申請してください。

また、可能であれば他県での受検も御考慮ください。

Q 4. 試験会場及び技能検定委員は誰が手配するのですか。

A 4. 一部作業を除き、受検者側(監理団体等)でお探しいただきます。

金属プレス作業や集合試験方式で実施する作業については、事務要領 P29～35 を御参照ください。

検定委員の選任基準については、事務要領 P10～12 を御参照ください。

また、検定委員を務めることのできる資格のある人材のデータベースが、技能検定制度に係るポータルサイト「技のとびら」のものづくりマイスターの[サイト](#)に掲載されていますので参考にしてください。

Q 5. 技能検定委員は退職者でも可能ですか。

A 5. はい。退職者であれば、受入企業に勤務されていた方でも結構です。ただし、退職後嘱託等で勤務されている方は選任出来ません。

Q 6. 申請書類はいつまでに提出するのですか。

A 6. 試験実施日の1か月前までに、受検手数料の振り込みが確認できる書類(振込用紙のコピー等)、及び技能検定合格を確認できる書類(随時2級、随時3級受検申

請時の場合)と一緒に提出してください。

Q 7. 試験材料等はどこで入手すればよいのですか。

A 7. 一部作業には試験材料を販売する団体があります。事務要領 P39～46 を御参照ください。

記載がない場合は、監理団体等で調達していただきます。

Q 8. 金属プレス作業の金型の予約はどうすればよいのですか。

A 8. 事務要領 P29～33 を御参照いただき、試験日を電話予約する際に、金型物品借用の申込みをしてください。

金型の予約は、金型の借用願(名古屋専門校以外で受検する場合) (名古屋専門校で受検する場合) を当協会へ提出していただきます。

Q 9. 学科試験は誰が担当するのですか。

A 9. 当協会の担当者です。試験日当日は、実技試験の開始から立ち会います。

Q10. 試験開始時間は変更できますか。

A10. 原則として午前9時30分としています。ただし、受検人数が多い等の特殊理由がある場合には考慮させていただきます。当協会へお電話で御相談ください。

Q11. 試験日を変更することができますか。

A11. 一度予約された試験日は、基本的に受検者や監理団体等の都合で変更することはできません。

Q12. 試験当日に、病気等でどうしても出席できない場合、受検手数料は返してもらえますか。

A12. お支払いいただきました受検手数料は、理由の如何を問わず返還することはできません。

Q13. 監理団体は試験に立ち会わなければなりませんか。

A13. 立ち会わなければならないというものではありません。受け入れ企業や受検者と御相談ください。